

かつしか 区議会だより

第2回定例会

6月	7・8日	本会議（一般質問、議案の付託等）
	9～14日	常任委員会
	16～18日	特別委員会
	22日	議会運営委員会
	23日	本会議（議案の議決等）

主な内容 2・3面…一般質問
4面…可決された議案ほか

NO.203 平成22年（2010年） 7月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎ 3695-1111 FAX 5698-1543



「かわせみ」 水元公園

UR賃貸住宅（旧公団住宅）居住者の 居住の安定に関する意見書を可決

今回の定例会では、11名の議員から区政一般質問が行われました。また、職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例をはじめとする区長提出議案等9件と、UR賃貸住宅（旧公

団住宅）居住者の居住の安定に関する意見書（下欄参照）などの議員提出議案8件が可決されました。
このほか、請願2件が採択されました。

可決された意見書（要旨）

今回の定例会では次の意見書8件を可決し、関係機関に送付しました。
（件名の下の分は意見の分かれた意見書です。各会派の賛否は4面に掲載）

UR賃貸住宅（旧公団住宅）居住者の居住の安定に関する意見書

政府に対し、次の事項を強く求める。①UR賃貸住宅の存在と役割の重要性を明確にし、居住者の居住の安定策を推進すること②公営住宅に準じた家賃制度の導入をはじめ、高齢者や子育て世帯等が安心して住み続けられる制度に改めるための検討を行うこと③UR賃貸住宅について、公共住宅を守る見地からの政策を推進すること④UR賃貸住宅への定期借家契約導入は、公的住宅としての役割をめぐらず、コミュニティ破壊などにつながる可能性があるため取りやめること

発達障害やその他文字を認識する上での困難のある児童生徒のためのマルチメディア教材の普及促進を求める意見書

政府に対し、必要とする児童生徒、担当教員等に教材を安定して配布・提供できるように、その普及促進のための体制の整備及び必要な予算措置を講ずることを強く求める。

小規模グループホームの防火体制強化を求める意見書

国会及び政府に対し、次の事項を強く求める。①すべてのグループホームにスプリンクラーの設置を義務化するとともに、交付金等による国の支援を拡充すること②小規模グループホームにおける人員配置基準を拡充するとともに、介護報酬の引き上げを図ること

未就職新卒者の支援策実施を求める意見書

政府に対し、次の事項を強く求める。①大企業を中心とした「新卒優先採用」という雇用慣行や就職活動の早期化を見直し、企業・大学の間で新しいルールを策定すること②大企業志向を強める学生と人材不足の中小企業を結びつけるための情報提供を行う「政府版中小企業就活応援ナビ」の創設を検討するなど、雇用のミスマッチを解消すること

ばらまき政策を排し財政の健全化を求める意見書

国会及び政府に対し、次の事項を強く求める。①年金、医療、介護などの社会保障制度をさらに充実させるため、経済状況の好転と税金の無駄遣いの撲滅を前提に、消費税を含む税制の抜本的改革を行うこと②健全財政の維持を内閣の責任とする「財政責任法」を法制化し、「恒久政策には恒久財源」との原則を確立すること③子ども手当を全面的に見直し、保育所の整備・拡充や幼児教育無償化など、子育て家庭が真に必要なサービスを実施すること

待機児童解消のための国有地等の利用を求める意見書

政府に対し、国有地・公有地の優先利用、無償貸与や借地、低価格での売却をすすめる仕組みを創設するとともに、土地取得に対する国の助成制度を策定することを強く求める。

都市農業振興に積極的に取り組むことを求める意見書

政府に対し、次の事項を強く求める。①都市の農地と農業の維持・発展を都市づくりの重要な柱に位置付けること②固定資産税や相続税など農地税制を改め、都市農地・緑地の減少を食い止めること③採算のとれる価格の実現、農地の基盤整備、販路確保など、農業生産を拡大する条件を広げること④生産者と消費者、住民の結びつきを強め、直売所の設置や学校給食への利用等、農家や自治体への支援を行い、地産地消の多面的な発展をはかること⑤都市の条件を生かし、転職・定年を機会にした就農などに對する援助制度をつくり、担い手の確保対策を強化すること

地域主権の確立に関する意見書

国会及び政府に対し、次の事項を強く求める。①国と地方の協議の場の法制化を急ぐとともに、法制化前であっても国と地方が十分協議した上で政策決定すること②住民に身近な市町村の役割を重視する観点から、国と地方の役割を抜本的に見直したうえで、国から地方への事務事業及び財源の移譲を大幅に進め、地方の権限を拡大すること③すべての国庫補助負担金を、原則として自治体はその裁量によって用途を決めることができるよう、慎重に検討すること

政治家の寄附は、禁止されています。また、暑中見舞等時候の挨拶状（答礼のための自筆のものを除く）を出すことも禁止されています。

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたり、お祝い金（出産・新築等）、贈り物（お中元・お歳暮等）をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

区政を聞く一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(8月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

自由民主党議員団
子育てするなら葛飾
さらなる子育て支援策の充実を

障害者福祉
新たな障害者総合福祉法の実施を前に、本区の障害者施策の展開について、基本的な考えを伺う。

本区の障害者の意見や要望を十分に把握し、総合かつ効果的な施策を展開するため、障害者意向調査などをを行い、平成24年度から6か年の新たな障害者施策推進計画を策定する。

※他の質問項目 自立支援の今後の取り組み など

子育て支援
児童発達支援の現状と今後の方向性について、区の考えを伺う。

昨年12月に、本区では第1号となる新小岩わんぱくクリニックに病児保育室「わんぱく」を設置し、症状の安定している病児療養中の保育児を預かっている。平成26年度までにもう1か所増設する予定であり、保護者が安心して仕事に従事できるよう、病児保育の充実を努める。

※他の質問項目 訪問型保育事業の改善 など

イトヨーカードー亀有駅前店の動向
同社は4階から7階までの返還を要望しているが、亀有駅前地区の核店舗としてどのような方策を考えているのか。また、返還により地域の商業へどのような影響を及ぼすのか、区の見解を伺う。

同社と管理会社が共同で新たなテナントを募集している。駅前ビルは、退去は亀有のまちづくりの大きな影響を及ぼし、地域の努力により培ってきた活力が失われ、いよいよ申し入れをしており、今後とも両者との連絡を密にする。全国的にも有名な亀有地区の活気に、きわぬ損なうことのないよう地元商店街の発展につながる商業施策を継続する。

東京理科大学学生の住居
同新橋六丁目地区周辺の居住環境についての区の認識を伺う。

葛飾キャンパスには約4千人の学生が通学する見込みだが、多くの学生が区内に居住し、生活できるような住みの住みやすい賃貸住宅が供給される必要があると考える。

※他の質問項目 建設指導要綱の改正

福祉総合窓口の整備と温室効果ガス削減の取り組み
福祉総合窓口の整備を進めているが、高齢・障害・介護の窓口を新館2階に配置したい。また、福祉案内窓口を設置して各相談を振り分け、同システムを活用しながら区民が迷わない・動かない・待たない窓口を構築する。

福祉総合窓口の整備
福祉総合案内センターは、いつからどのように提供されるのか。また、その進捗状況はどうか。

平成23年1月の開設にむけて、利用可能なサービス案内する福祉総合案内システムの構築を進めている。整備にあたり、高齢・障害・介護の窓口を新館2階に配置したい。また、福祉案内窓口を設置して各相談を振り分け、同システムを活用しながら区民が迷わない・動かない・待たない窓口を構築する。

福祉総合案内センター
福祉総合案内センターは、いつからどのように提供されるのか。また、その進捗状況はどうか。

平成23年1月の開設にむけて、利用可能なサービス案内する福祉総合案内システムの構築を進めている。整備にあたり、高齢・障害・介護の窓口を新館2階に配置したい。また、福祉案内窓口を設置して各相談を振り分け、同システムを活用しながら区民が迷わない・動かない・待たない窓口を構築する。

民主 党 葛 飾

待機児解消に向け、早急な対応を
保育園・学童保育待機児対策
問本年4月に昨年度の倍以上の待機児が発生しており、保育園待機児解消の取り組みを急ぐ必要がある。現状認識及び課題・対策などを伺う。

答認可保育園、分園、認証保育所の新設や家庭福祉員の増員による、待機児が多く発生している地域を中心に、対応を進め、早期解消を図っていく。

※他の質問項目 学童保育への補助金の逆算進捗 など

公園名称の由来文書
問文化歴史にちなんだ公園名の由来文書の掲載を検討してはどうか。

答公園の新設や改良などの機会を捉え、地元町会や地域の意見を伺いながら、検討していく。

少子高齢社会に対応する地域医療基盤整備とバス路線拡充
問今後、二次医療機関と一次医療機関の連携強化が必要と考えるが、現状認識や課題・対策などを伺う。

答医師会や歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、地域包括支援センターなどの関係機関と、医療連携のあり方を検討してきた。

※他の質問項目 循環バスの実現と区外へのアクセス など

高年齢者の就業支援
問意見箱の設置や相談会の実施により希望者の声にマッチした就業の提供が必要と思うが、見解を伺う。

答シルバー人材センターに、積極的な検討を働きかけていく。

※他の質問項目 シルバー人材センターとシニア就業支援との連携 など

商店街事業の推進
問商店街限定の買い物券の配布が、商店街に足を運ぶきっかけづくりになると思うが、見解を伺う。

答地元商店街と相談しながら自主的な商店街の活動を支援していく。

青砥駅周辺とシンフォニーヒルズの連帯性の形成
問ホールにたどり着くまでの演出で、来客者の満足度を高めるにはどうか。

答周囲の街並みとの調和を図りながら、ルートでの整備を検討していく。

河川空間を利用した観光施策
問堀切観光船事業は、葛飾区と東京スカイツリーの風景を結び船として定着させる努力をすべきと考えるが、どうか。

答今後も葛蒲まつり期間の観光船運航や荒川における定期便の堀切葛蒲園船着場への寄港を東京水辺ラインへ働きかけていく。

保育園待機児対策
問待機児増加について、どのような対応策を考えているのか。

答待機児が多く発生している地域を中心に、認証保育所や認可保育園の分園を設置することにより、待機児の早期解消を図っていく。

※他の質問項目 家庭福祉員(保育ママ)の拡充

無 所 属 (※2)

小中一貫教育校「新小岩学園」と土曜授業の実施
問「新小岩学園」に通う場合の保護者の意見や、区民のほかに乗り換え客の利便性にも資するが、どうか。

答新小岩学園は、新小岩駅の新設停車駅になる。スカイライナーの停車は、必要に応じて働きかけを検討する。

※他の質問項目 タイヤ改正による京成立石駅への影響と対策 など

高砂駅周辺の開発
問高砂駅周辺の街づくりは、都営住宅の建て替えに合わせて進める必要があるが、今後の取り組みを伺いたい。

答高砂駅周辺まちづくり基本構想を尊重し、都営団地の建て替え計画と整合を図りながら、関係機関と調整をする。今後は、街づくりの検討を各論へと進めるために関係者の合意形成に向け、積極的な支援を続ける。

※他の質問項目 区役所全体で取り組む姿勢 など

本区のホームページ
問利用者が目的のページにたどり着きやすい分類構造にすべきだがどうか。

答利用者の視点に立ち、他の自治体を参考に構造や表現などを検討する。

※他の質問項目 よくある質問 など

日本共産党葛飾区議会議員団
住民不在のまちづくりをあらため、大企業にもが言える区に

問問答四丁目地区地区計画は、改めて住民の意見をよく聞くべきと思うがどうか。

答街づくり説明会や街づくり検討会を行うなど、地域住民の意見を取り入れて計画を取りまとめたことと考えている。また、街づくりニュースを配布するなど周知を行っていく。

問立石駅前再開発計画、庁舎建て替え計画は、白紙に戻すべきと思うがどうか。

答再開発事業は、地域防災性や交通利便性の向上、商業の活性化のため推進を図っており、白紙に戻す考えはない。総合庁舎整備は、議会や区民の意見や、区民のほかに乗り換え客の利便性にも資するが、どうか。

答新小岩駅は、新小岩駅の新設停車駅になる。スカイライナーの停車は、必要に応じて働きかけを検討する。

※他の質問項目 タイヤ改正による京成立石駅への影響と対策 など

小中一貫教育
問小中一貫教育校「新小岩学園」と土曜授業の実施

答金町駅北口地域は、東京理科大学の開学などにより大きな発展が期待される。これに伴い、自転車駐車場の整備も北口地域の街づくりの重要な要素と考えている。

河川空間を利用した観光施策
問堀切観光船事業は、葛飾区と東京スカイツリーの風景を結び船として定着させる努力をすべきと考えるが、どうか。

答今後も葛蒲まつり期間の観光船運航や荒川における定期便の堀切葛蒲園船着場への寄港を東京水辺ラインへ働きかけていく。

保育園待機児対策
問待機児増加について、どのような対応策を考えているのか。

答待機児が多く発生している地域を中心に、認証保育所や認可保育園の分園を設置することにより、待機児の早期解消を図っていく。

※他の質問項目 家庭福祉員(保育ママ)の拡充

葛飾区議会公明党

河川空間を利用した観光施策と学校施設の耐震補強
問河川空間を利用した観光施策と学校施設の耐震補強

答河川空間を利用した観光施策は、葛飾区と東京スカイツリーの風景を結び船として定着させる努力をすべきと考えるが、どうか。

答認可保育園、分園、認証保育所の新設や家庭福祉員の増員による、待機児が多く発生している地域を中心に、対応を進め、早期解消を図っていく。

※他の質問項目 学童保育への補助金の逆算進捗 など

公園名称の由来文書
問文化歴史にちなんだ公園名の由来文書の掲載を検討してはどうか。

答公園の新設や改良などの機会を捉え、地元町会や地域の意見を伺いながら、検討していく。

少子高齢社会に対応する地域医療基盤整備とバス路線拡充
問今後、二次医療機関と一次医療機関の連携強化が必要と考えるが、現状認識や課題・対策などを伺う。

答医師会や歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、地域包括支援センターなどの関係機関と、医療連携のあり方を検討してきた。

※他の質問項目 循環バスの実現と区外へのアクセス など

高砂駅周辺の開発
問高砂駅周辺の街づくりは、都営住宅の建て替えに合わせて進める必要があるが、今後の取り組みを伺いたい。

答高砂駅周辺まちづくり基本構想を尊重し、都営団地の建て替え計画と整合を図りながら、関係機関と調整をする。今後は、街づくりの検討を各論へと進めるために関係者の合意形成に向け、積極的な支援を続ける。

※他の質問項目 区役所全体で取り組む姿勢 など

本区のホームページ
問利用者が目的のページにたどり着きやすい分類構造にすべきだがどうか。

答利用者の視点に立ち、他の自治体を参考に構造や表現などを検討する。

※他の質問項目 よくある質問 など

日本共産党葛飾区議会議員団
住民不在のまちづくりをあらため、大企業にもが言える区に

問問答四丁目地区地区計画は、改めて住民の意見をよく聞くべきと思うがどうか。

答街づくり説明会や街づくり検討会を行うなど、地域住民の意見を取り入れて計画を取りまとめたことと考えている。また、街づくりニュースを配布するなど周知を行っていく。

問立石駅前再開発計画、庁舎建て替え計画は、白紙に戻すべきと思うがどうか。

答再開発事業は、地域防災性や交通利便性の向上、商業の活性化のため推進を図っており、白紙に戻す考えはない。総合庁舎整備は、議会や区民の意見や、区民のほかに乗り換え客の利便性にも資するが、どうか。

答新小岩駅は、新小岩駅の新設停車駅になる。スカイライナーの停車は、必要に応じて働きかけを検討する。

※他の質問項目 タイヤ改正による京成立石駅への影響と対策 など

小中一貫教育
問小中一貫教育校「新小岩学園」と土曜授業の実施

答金町駅北口地域は、東京理科大学の開学などにより大きな発展が期待される。これに伴い、自転車駐車場の整備も北口地域の街づくりの重要な要素と考えている。

土曜授業
問平成22年度の実施予定と平均実施回数について伺う。

答各学校の実態に応じて年間5回から9回の範囲で計画している。平均実施回数は、小学校で53回、中学校で54回、全体で54回である。

※他の質問項目 夏休みの縮減 など

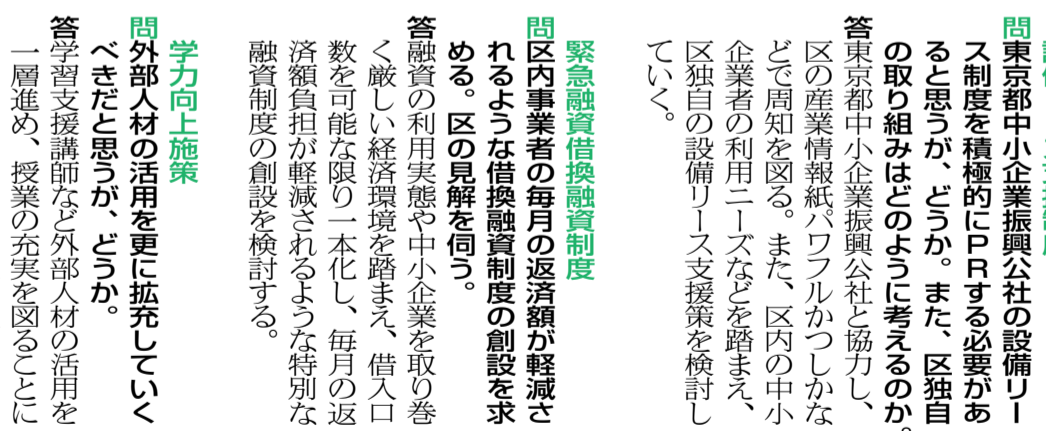
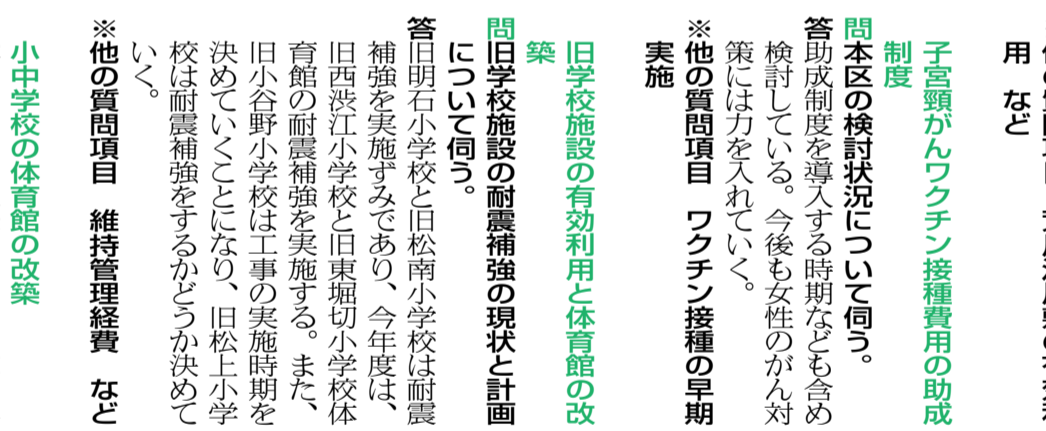
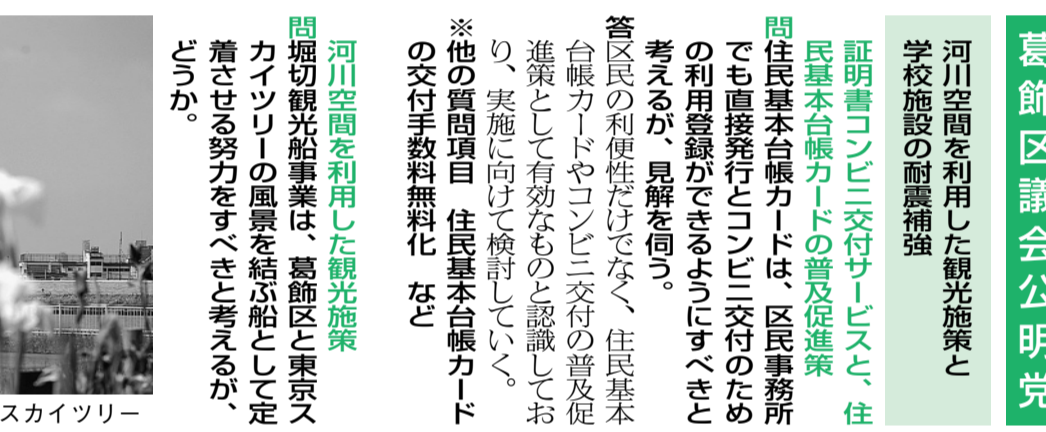
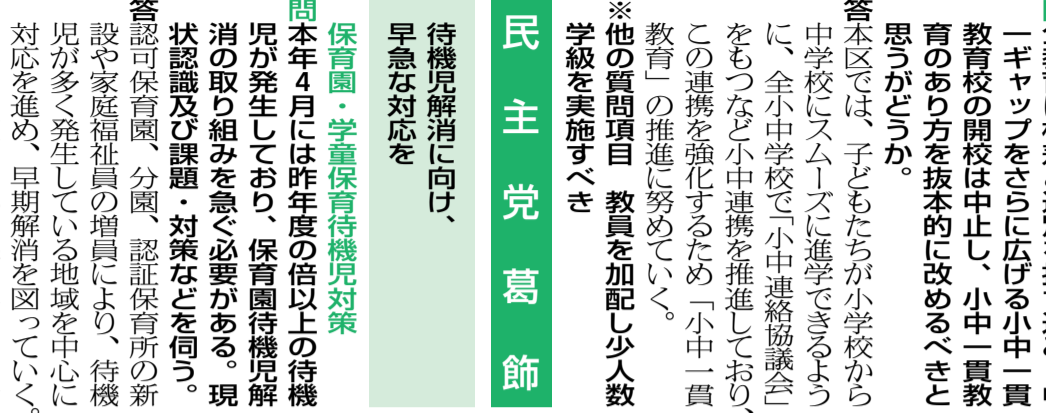
AEDの貸出し
問積極的にPRをし、AEDの貸出しを促進すべきと思うが、どうか。

答広報かつしか等で、AEDが全小中学校に設置され、保健所で貸し出しをしていることを積極的にPRする。

金町駅北口自転車駐車場
問金町駅北口の慢性的な自転車駐車場不足について、早急に整備すべきと思うが、どうか。

答金町駅北口地域は、東京理科大学の開学などにより大きな発展が期待される。これに伴い、自転車駐車場の整備も北口地域の街づくりの重要な要素と考えている。

負担について伺う。
答小中一貫教育校としての一体感や愛校心を育むため、小学校についても標準服として、家庭で洗濯可能な安価なブレザーの上着を検討している。入学準備や在学中の教材等の費用は、他の区立校と変わらない。



区政を聞く一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(8月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

自由民主党議員団
子育てするなら葛飾
さらなる子育て支援策の充実を

障害者福祉
新たな障害者総合福祉法の実施を前に、本区の障害者施策の展開について、基本的な考えを伺う。

本区の障害者の意見や要望を十分に把握し、総合かつ効果的な施策を展開するため、障害者意向調査などをを行い、平成24年度から6か年の新たな障害者施策推進計画を策定する。

※他の質問項目 自立支援の今後の取り組み など

子育て支援
児童発達支援の現状と今後の方向性について、区の考えを伺う。

昨年12月に、本区では第1号となる新小岩わんぱくクリニックに病児保育室「わんぱく」を設置し、症状の安定している病児療養中の保育児を預かっている。平成26年度までにもう1か所増設する予定であり、保護者が安心して仕事に従事できるよう、病児保育の充実を努める。

※他の質問項目 訪問型保育事業の改善 など

イトヨーカードー亀有駅前店の動向
同社は4階から7階までの返還を要望しているが、亀有駅前地区の核店舗としてどのような方策を考えているのか。また、返還により地域の商業へどのような影響を及ぼすのか、区の見解を伺う。

同社と管理会社が共同で新たなテナントを募集している。駅前ビルは、退去は亀有のまちづくりの大きな影響を及ぼし、地域の努力により培ってきた活力が失われ、いよいよ申し入れをしており、今後とも両者との連絡を密にする。全国的にも有名な亀有地区の活気に、きわぬ損なうことのないよう地元商店街の発展につながる商業施策を継続する。

東京理科大学学生の住居
同新橋六丁目地区周辺の居住環境についての区の認識を伺う。

葛飾キャンパスには約4千人の学生が通学する見込みだが、多くの学生が区内に居住し、生活できるような住みの住みやすい賃貸住宅が供給される必要があると考える。

※他の質問項目 建設指導要綱の改正

福祉総合窓口の整備と温室効果ガス削減の取り組み
福祉総合窓口の整備を進めているが、高齢・障害・介護の窓口を新館2階に配置したい。また、福祉案内窓口を設置して各相談を振り分け、同システムを活用しながら区民が迷わない・動かない・待たない窓口を構築する。

福祉総合窓口の整備
福祉総合案内センターは、いつからどのように提供されるのか。また、その進捗状況はどうか。

平成23年1月の開設にむけて、利用可能なサービス案内する福祉総合案内システムの構築を進めている。整備にあたり、高齢・障害・介護の窓口を新館2階に配置したい。また、福祉案内窓口を設置して各相談を振り分け、同システムを活用しながら区民が迷わない・動かない・待たない窓口を構築する。

葛飾区民会議

職員の意識改革・抜擢人事と地域組織などによる学力向上
区長が宣言した人材育成基本方針によって、職員(特に部長)の意識改革は進んでいるのか

問「区民第一」「スピードアップ」の意識は職員に理解されているのか。具体的な事例があれば伺いたい。

答職員は職員の育成のために、目指すべき職員像を示し、行政のスピードアップのため、すぐやる担当課を設置し、区民からの相談に迅速に答えている。

※他の質問項目 「挑戦し続ける姿勢」は職員に理解されているか など

イトヨーカードー亀有駅前店の一部撤退
問現時点において空き予定スペースに

答新小岩駅は、新小岩駅の新設停車駅になる。スカイライナーの停車は、必要に応じて働きかけを検討する。

※他の質問項目 タイヤ改正による京成立石駅への影響と対策 など

高砂駅周辺の開発
問高砂駅周辺の街づくりは、都営住宅の建て替えに合わせて進める必要があるが、今後の取り組みを伺いたい。

答高砂駅周辺まちづくり基本構想を尊重し、都営団地の建て替え計画と整合を図りながら、関係機関と調整をする。今後は、街づくりの検討を各論へと進めるために関係者の合意形成に向け、積極的な支援を続ける。

※他の質問項目 区役所全体で取り組む姿勢 など

本区のホームページ
問利用者が目的のページにたどり着きやすい分類構造にすべきだがどうか。

答利用者の視点に立ち、他の自治体を参考に構造や表現などを検討する。

※他の質問項目 よくある質問 など

日本共産党葛飾区議会議員団
住民不在のまちづくりをあらため、大企業にもが言える区に

問問答四丁目地区地区計画は、改めて住民の意見をよく聞くべきと思うがどうか。

答街づくり説明会や街づくり検討会を行うなど、地域住民の意見を取り入れて計画を取りまとめたことと考えている。また、街づくりニュースを配布するなど周知を行っていく。

問立石駅前再開発計画、庁舎建て替え計画は、白紙に戻すべきと思うがどうか。

答再開発事業は、地域防災性や交通利便性の向上、商業の活性化のため推進を図っており、白紙に戻す考えはない。総合庁舎整備は、議会や区民の意見や、区民のほかに乗り換え客の利便性にも資するが、どうか。

答新小岩駅は、新小岩駅の新設停車駅になる。スカイライナーの停車は、必要に応じて働きかけを検討する。

※他の質問項目 タイヤ改正による京成立石駅への影響と対策 など

小中一貫教育
問小中一貫教育校「新小岩学園」と土曜授業の実施

答金町駅北口地域は、東京理科大学の開学などにより大きな発展が期待される。これに伴い、自転車駐車場の整備も北口地域の街づくりの重要な要素と考えている。

土曜授業
問平成22年度の実施予定と平均実施回数について伺う。

答各学校の実態に応じて年間5回から9回の範囲で計画している。平均実施回数は、小学校で53回、中学校で54回、全体で54回である。

※他の質問項目 夏休みの縮減 など

AEDの貸出し
問積極的にPRをし、AEDの貸出しを促進すべきと思うが、どうか。

答広報かつしか等で、AEDが全小中学校に設置され、保健所で貸し出しをしていることを積極的にPRする。

金町駅北口自転車駐車場
問金町駅北口の慢性的な自転車駐車場不足について、早急に整備すべきと思うが、どうか。

答金町駅北口地域は、東京理科大学の開学などにより大きな発展が期待される。これに伴い、自転車駐車場の整備も北口地域の街づくりの重要な要素と考えている。

負担について伺う。
答小中一貫教育校としての一体感や愛校心を育むため、小学校についても標準服として、家庭で洗濯可能な安価なブレザーの上着を検討している。入学準備や在学中の教材等の費用は、他の区立校と変わらない。

